

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【14】」

2. 日時：令和6年1月16日 14時00分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

（核燃料施設審査部門）

甫出安全審査官

（システム安全研究部門）

福田副主任技術研究官

GNS Japan 株式会社：

最高技術責任者 他4名

原燃輸送株式会社：設計・開発部 開発 Gr マネージャー 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1-1 補足説明資料 16-4 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設除熱機能に関する説明資料
- ・資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連 除熱）2023.11.08 判断事項・指示事項への回答
- ・資料1-3 （除熱）特定兼用キャスクの型式証明に係る CASTOR[®]geo26JP 型の申請書への NRA コメントへの回答
- ・資料1-4 補足説明資料 16-5 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料
- ・資料1-5 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連 長期健全性）2023.11.08 判断事項・指示事項への回答
- ・資料1-6 （長期健全性）特定兼用キャスクの型式証明に係る CASTOR[®]geo26JP 型の申請書への NRA コメントへの回答

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	規制庁のマツノですけども、
0:00:10	一応時間になりましたので今から、
0:00:12	型式証明のヒアリングを始めたいと。
0:00:15	本日は、
0:00:18	除熱と長期健全性。
0:00:20	会合での指摘事項を踏まえて、資料を用意していただきましたので、
0:00:25	まずは資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:33	はい、JNESジャパンの三枝です。
0:00:37	本日は、
0:00:39	米津。
0:00:42	オノの方からそれから長期健全性について案とれんの方から、
0:00:47	説明させていただきます。
0:00:50	資料パワーポイント。
0:00:53	1-2 というのを使って説明させていただきます。
0:00:57	それでは、この方からいきます。
0:10:40	はい。院長。
0:10:43	薄井大戸の方に移らせていただきます。
0:10:48	こちらから、
0:10:51	お願いしたいと思えますけども、
0:11:07	売り上げの5%。
0:11:10	その辺を踏まえて必要は、
0:11:13	実際に人間から何までできるなりしてくるのでも、高めにやってますと。
0:11:21	それでよろしいですかね。
0:11:23	あとは、
0:11:25	ヘリウムですからさほどの滞留の効果はないと思うんです。
0:11:31	まあ、
0:11:32	ガスにしては比較的、
0:11:34	エンドウで考えましたと。
0:11:37	おそらくそれが、この補足説明資料かどっかの
0:11:44	考え方っていうかね、GNS者のポリシーとして、
0:11:48	ここで何だの18っていうのがあって、
0:11:52	これ若干
0:11:55	測定値上にシフトしてこれ
0:11:58	上昇流があるということだと思えますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	F解析ってということで実際の解析だったらほとんど、
0:12:06	中心部がピークになってるところで、これは、こういう傾向を示すのは、真空であるか、ヘリウムの伝導だけでやるかしかないんで、
0:12:16	おそらく、こういうやり方で同じ考え方でやりましたって、
0:12:20	ですね。
0:12:24	そしてというところでは、理解をいたしました。
0:12:35	規制庁松野です。私の方からも幾つか確認したいんですけども、
0:12:39	まずパワポ資料の4ページ目で、
0:12:42	このモリ0の計算の不確かさの数字ってのはこれマスキング対象ですか。
0:13:24	三鷹にその補足説明資料と、
0:13:28	パワポ資料では、
0:13:30	この数字が、
0:13:32	マスキングしてるに対してパワポでマスキングしてないので、
0:13:36	そこはちょっと整合とれてなかったんで、そこと整合とる必要はないってということでよろしいですか。
0:14:49	はい。
0:14:50	この不確かさのこのパーセントのこの、
0:14:53	根拠、考え方をちょっと説明をお願いします。
0:17:04	JRジャパンのサエグサです失礼しました。
0:17:06	現時点では、
0:17:09	配備、エンジニアリングジャッジメントとして、
0:17:12	5%の
0:17:15	不確かさを想定して、1. . .
0:17:18	おって、
0:17:20	詳細な
0:17:21	この不確かさについては議論する予定ですけども、
0:17:28	そこは補足説明資料にちょっと記載をお願いしたいと思います。
0:17:33	了解しました。
0:17:35	すいません。
0:17:37	何か今の、
0:17:39	大体事務事業者さんも、
0:17:41	説明されてる。
0:17:43	28ページ。
0:17:49	このカーブで大体、要はある程度いけば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:52	全職員数がタテば大体コンパラになるけれども、
0:17:57	それを入れれば、堀部山越。
0:18:01	最初の方は、低めに出るんで、
0:18:04	ここではなかった。
0:18:08	ちょっとその辺でこのグラフ示されてるっていうことは多分、そう。
0:18:13	そういう位置付けじゃないかなと思った。
0:18:55	多分そういうことで、多分 5%という、
0:18:59	皆さんに対して啓発資料%も、
0:19:03	大体この辺のグラフを、
0:19:06	どの事業者さんも、
0:19:10	リファしながら、
0:19:11	使われてるんで、
0:19:13	おそらくこれでご説明されてるんじゃないかなと。
0:19:23	んと、HIせJapanサエグサです。
0:19:26	わかりましたこの図の 13 の結果も踏まえてちょっと補足説明資料の方で、詳しくその辺は議論させていただきたいと思います。
0:19:40	はい。
0:19:42	次なんですけども、またパワポ資料の 4 ページに戻っていただきまして、
0:19:49	高齢、
0:19:51	こちらからの指摘の内容は、
0:19:55	その入力条件の保守性をどのように考慮しているのか、っていうことなんですけども、
0:20:01	この鍵括弧で書かれてある、
0:20:04	この使用済み燃料の崩壊熱量及び、
0:20:08	使用済み燃料集合体の、
0:20:11	燃焼度に応じた、
0:20:13	収納配慮を考慮した除熱評価を行うということで、
0:20:19	保守性の説明を、
0:20:23	除熱解析全般のその保守性は
0:20:26	今説明があった通りだと思うんですけども、
0:20:31	この前段にあるこの使用済み燃料の崩壊熱量の、
0:20:37	入力条件設定のその保守性っていうのは、
0:20:40	具体的に何に当たります。
0:23:22	すいません土地エンドウJapanモンマです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:27	ちょっとパワーポイント4ページのちょっと説明の仕方がちょっとわかりにくかったかもしれないんですけど、
0:23:34	右の
0:23:38	図ですね、右上のサノ
0:23:42	緑色とかの連上とか実際の燃料の配置。
0:23:47	の絵がありますけど、これをもとに
0:23:51	実際に
0:23:54	オリゲン計算も旧4ケースぐらいやってて、
0:23:58	そのオリエン計算結果の崩壊熱量を包絡するような形で除熱解析モデルAとBというのを
0:24:08	設定してるので、その
0:24:11	実際の
0:24:13	年度の収納配置を包絡するような
0:24:17	へえ。
0:24:19	除熱解析モデルA、Bを設定して評価してるので、あそこがアノをセンナってるっていう
0:24:26	ちょっとそういうような
0:24:29	説明の仕方をこの資料でちょっと知ったつもりなんですけども、
0:24:35	何かそれで回答になってますでしょうか。
0:24:43	除熱解析全体の保守性の説明の中で、
0:24:47	使用済み燃料崩壊熱を求める際の入力条件で保守性が積んでいるものがあればそこは明確にしてください。
0:24:56	9
0:24:57	今のコメントですが、もし明確にする必要が、
0:25:03	ものがあれば、そこはちょっと補足説明資料にちょっと明確に書き分けて、
0:25:09	修正をお願いできればと思います。
0:25:13	そこを書き分けることが難しいようであれば別に今のままで、
0:25:17	今のままの記載。
0:25:20	そういう意味でそうですね
0:25:24	兵
0:25:26	使用済み燃料の収納配置を包絡するモデルを設定してそれを入力条件としましたっていうことなので、
0:25:35	そうっすね。
0:25:36	ちょっとすいません

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:38	へえ。
0:25:40	表現の仕方がちょっと何かわかりにくいかもしれないので、ちょっと説明の仕方はちょっとまた検討させていただき、
0:25:50	あと最後に、
0:25:52	ドイツ解析コードの妥当性で、
0:25:56	パンフのコードなんですけど、
0:25:58	これ補足説明資料の、
0:26:05	50 ページ目。
0:26:08	50 ページ目じゃない。
0:26:09	30
0:27:05	30 ページ目なんですけど、
0:27:15	10 図の 15 と図の 16 があって、
0:27:18	10-16 の方は、
0:27:23	計算値と解析値の比較で、
0:27:26	このグラフが、
0:27:28	計算値と、
0:27:29	一致してるっていうのが、
0:27:32	グラフ見てすぐわかるんですけど。
0:27:34	この図の 15 の方の、
0:27:37	この比較なんですけど、
0:27:40	緑の線が、標準偏差で、
0:27:44	黒野。
0:27:46	プロットが計算結果なんですけど、
0:27:50	基本この、
0:27:52	計算結果の黒のプロットが、
0:27:56	緑の層準変サノ、
0:27:58	ナカで、
0:28:00	すべてTAC、
0:28:04	四つのタスクでこう見て、
0:28:06	標準偏差内に入ってるっていうことが大体わかるんですけど、中にはそのタスクモデルBと、
0:28:13	あそこのUK. のところの、
0:28:16	BのところとCのところは、
0:28:19	これ標準偏差がちょっと外れて外れてるところがあるんですけど、
0:28:24	これはどのようにこれ見ればいいんですかそれ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:30	これ、基本、
0:28:31	標準偏差にこの計算結果はこれ収まっていないといけないものなのか。
0:28:37	これはずれてもいいものなのかっていうところはちょっと、
0:28:41	その辺の見方とか、結果のその考察っていうところを少し説明をお願いしますか。
0:28:58	すみません、Japanモンマでしたね。
0:29:01	数十コウですね
0:29:06	これ
0:29:08	ふうん。
0:29:09	文献。
0:29:11	に示される標準偏差が
0:29:15	緑の線ですって書いてあるんですけど実際にはですねこれ。
0:29:22	この文献は
0:29:24	兵
0:29:26	アメリカのSandiaNationalLaboratoryっていうところで世界で使われてる
0:29:35	様々な計算コードを同じモデルを使って計算して、
0:29:41	その範囲がこの緑色示されてですね。
0:29:46	Sandiaのラボラトリーの文献にはその暗室行動の計算は入ってなくて、その緑色の線っていうのがもう、世界でよく使われてる計算コードの
0:29:58	範囲を示し、同じモデルに対しての計算をし、計算範囲を示してるんで、
0:30:04	そこに大体、
0:30:05	入ってれば
0:30:07	この案シスコードっていうのも
0:30:10	そういったところと同じぐらいのレベルで野瀬の精度が出てるっていう、 そういう、
0:30:15	見方の論文なんですけども、だからそういう意味で
0:30:19	この緑色の線等
0:30:24	あと引き方というんですかねこの案シスコードの計算結果が、
0:30:31	その緑サンゴ線に入って、
0:30:34	ないっていうのはそういう理由になります。
0:30:38	へえ。
0:30:39	他のアノ。
0:30:41	最近使われてる計算コードの範囲の中から、若干ちょっと外れてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:48	計算結果はね、
0:30:50	搬出工事ありましたっていう、ただ、
0:30:53	これは大きな差ではないので、
0:30:55	全体として妥当ですっていう、比較の仕方はこれして、
0:31:02	ちょっとわかり、
0:31:08	はい。
0:31:12	多分、
0:31:16	そのディーエムエスの
0:31:19	これではなくって、
0:31:21	例えば、
0:31:27	はい。
0:31:31	伝熱検査。
0:31:33	伝熱検査と、例えば
0:31:37	多分、GNSの中で、このアイスっていうのは標準的なコードとして多分使われてるということで前回で採用されたという
0:31:48	そういう説明ではいくらでもあると思うんですね。
0:31:51	そちらで、例えば、郡司の、要はそのJNESのキャスクファミリーの、これこれについて、
0:31:59	例えば、
0:32:00	JNES検査やりましたとか、耐火試験をしたとか、
0:32:05	の結果はこうですよっていうふうな、
0:32:08	結果を示していただいて、割とそのいくつか電熱検査っていういろいろバラバラするかもしれませんが、
0:32:16	ばらつき、ばらつきもそんななくて、
0:32:19	ほらほらちゃんと使えるでしょっていうふうな説明された方が、
0:32:23	例えば余りに一般的なね、こういうふうなSandiaかなんかのレポートで、今、本間さんがいろいろご説明されないと理解できないような、
0:32:35	内容ではなくって、ちゃんとそのキャッシュで使われて自分たちが使って例えば、統一の規制当局にしても、
0:32:44	大体それ使っていいよねと。
0:32:47	いうふうなところまでお示しを与えているものだという
0:32:50	ことで、多分採用されてると思いますんで、その辺でね。
0:32:55	できればその規制報告、
0:32:59	ファームかBSEかわかんないですけども、そちらに例えば示したもので、提示が可能なものっていうもので、ベンチマーキングを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:10	出していただいた方が、説得性はあるんだよ。
0:33:19	はい。JNESJapanモンマです
0:33:24	そうっすねちょっと
0:33:28	そういう、よりわかりやすい進めって言うんですねそっちもちょっと検討させてます。それで、この今の
0:33:36	除熱通の、
0:33:39	妥当性の説明っていうのは
0:33:41	二つのパートにここでオガセって書いてあって一つ目は文献調査みたいな妥当性で、そのまあ、あのSandiaの文献との比較で、
0:33:52	タナハシスポーツの計算結果まあウタ等、
0:33:56	流行ますねっていうことと、
0:33:58	あとはその後に
0:34:03	まきゃストール型ちょっと類似の客通る形での
0:34:07	実際のキャッシュ表面温度。
0:34:09	との比較っていうのをやってきて、この二本立てで説明しようとしてるっていう内容では、
0:34:16	ありましたけど、今日のお話を承ってちょっと最近、
0:34:20	大分
0:34:21	された方が説明の量の少ない。
0:34:28	当然、
0:34:51	規制庁マツノです。ほかに何か。米津。
0:34:56	はい。はい。
0:35:00	説明資料の、
0:35:03	48 ページ、41。
0:35:06	0 のケース、いろんな算定の、
0:35:10	を説明いただいた。
0:35:15	こんなもんかと、ぱっと読んで思ったんだけども、よくよく版で見ると、要は、この 48 ページの内容と、49 ページの対応をするかがよくわかんないな。
0:35:27	いうこと。
0:35:30	例えば、
0:35:32	この今回の申請対象の特定兼用キャスクは、
0:35:38	要は非常に古典的な幾何学的なその日の形状から、
0:35:44	大体そんなもんですよと。
0:35:46	いうところで、保守側の何かよくわかんないけども、保守側に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:51	□にしましたっていう、
0:35:54	説明なんですけども、
0:35:57	これが、
0:36:01	そのクラシカルなやり方なんだけども、
0:36:03	これを裏付けるのが、
0:36:06	本来は、
0:36:08	48 ページの話ではないかなと思われるわけ。
0:36:12	で、48 ページ何やってるかつつたら、
0:36:15	実験データ一生懸命整理して、それに合わせるようにセキを解析したら、
0:36:20	こんなふうになりましたと。
0:36:23	いろいろ考えて、いろいろ考えて、
0:36:28	変形するというのを、
0:36:31	メンバーして、何とか任して、
0:36:33	さらにこれぐらい特定してあるから、なんちゃらかんちゃらやって、出した っていうところが、
0:36:41	この、こちら側のこちら側の 49 とこの 48 のその個々のすごい能力をか かった。そのデータをいっぱい集めてやったものっていう。
0:36:51	これ何、どう言ってるのかっていうのはね、わかんないんですね。
0:36:55	で、説明の仕方としては、本来であれば、
0:36:59	このデータ山ほどあるわけですから、
0:37:01	この、これ、よくわかりません。キャストVなのか。
0:37:05	昔はキャストのCなのかわかんないけれども、
0:37:08	そういうものに対して、この古典的なやり方をやってみたら、大体こんな もんになりましたと。
0:37:17	そうすると、若干非保守性のところがあるので、例えばこういう補正をか けました。それは、例えば、
0:37:26	そういうことを一生懸命やってプロセスを検証する上で、mmやりました っていうんだから、
0:37:32	言うんだったらわかるんですけども、こちらに簡易的な、今その非常に わかりやすい、要はクラシカルなやり方で、この特定兼用キャストの品 ケースを決められて、
0:37:44	それとはちょっと、
0:37:46	間がね、繋がってないと、というような気がするんですね。だから、
0:37:50	これやるんだったら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:52	この簡単なやつでやったらほんならその品ケースって一体っていうか、 ここのモデル、
0:37:58	それに対してどのように補正をかけたら保守側になるのっていうような アプローチが必要じゃないかなっていう説明になるのではないかなとい うふうに思われますので、
0:38:10	できれば、この、今回の検証の対象としたものに対して、簡易なものを やって海田会のこのやり方に従ってやってみたらどうなるとか、
0:38:21	それに対してどれぐらいの日、
0:38:25	公費保守性なのか、確定したのかわかんないですけど、そういうことを 考えたら、大体どれぐらいまで落とさなきゃいけないのか、だから、こ ういう考え方で、
0:38:35	やりました。こちらに <input type="checkbox"/> を <input type="checkbox"/> にしてるけども、
0:38:40	こちらは、例えば3点。
0:38:42	<input type="checkbox"/> ぐらいのやつを <input type="checkbox"/> にしましたっていうところで、ここのプロセスが 繋がってないと、せっかくここまで、要はデータ出してても繋がらないん で、
0:38:53	である件数だけここを使いましたっていうのは、これは通用しないでさっ き、
0:38:58	ていうのは、同じプロセスでやってこうなりますよ。そこに関わってくると 井清てこんなもんですね。それはそれだから、ここの係数を、例えば0.8 倍ぐらいにするのは、
0:39:10	ここに対してはその読み取りとか品の地面上とか関係ないよと。
0:39:15	こういうもので関係ないからこれそのまま使えんだよっていうふうな説明 であればね。
0:39:21	わかりやすいと思うんですけども。
0:39:24	せっかく、せっかくどうですかね細かな時、今まで蓄積されたね、実験デ ータに基づいて説明されてるんだけども、ちょっと繋がってないような感 じが。
0:39:34	しますので、使うのであれば、
0:39:37	要はその
0:39:40	どうですかね。繋がりますよ。フランス選びですかね、すごいを考えて、
0:39:47	要は、キャッシュファイルとかの、その実績を、
0:39:51	いかにこっちに焼き直したかというところがちゃんと理屈に基づいて、そ れから、
0:39:57	説明される必要があるかなと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:01	だから、その結果が幾つかってというのは別には飛びません。
0:40:04	説明のプロセスとしてそういうプロセスではないかなと。
0:40:13	だから、今言ったことすべてで、
0:40:17	ここすごいダフクダさん、多分相当大変な作業だったと思うんです。
0:40:23	ここやったプロセスを、とにかく、
0:40:26	こっちに対して、同じことやってこのプロセスで検証してっていうふうな形で見えてこないといけないんじゃない
0:40:33	ちょっといただければ。
0:41:55	ジェイ・エム・エスジャパンモンマですね。
0:41:58	はい。
0:41:59	今もう、
0:42:01	草間が申し上げたことは、
0:42:04	はい。
0:42:06	ちょっと、直接、(1)と(2)の説明が伝わってないっていうところ。
0:42:12	ちょっと工夫とか何かさせていただきまして、
0:42:16	(1)の品継承の妥当性についてっていうコガの説明はもう実際にDNS実験やってまして、ただ、
0:42:25	この値を 26JPのフィンランドと類シノ、
0:42:31	いうことから全く同じ先行でなかったもので、それと、
0:42:36	この実際の寸法の(2)の方の説明と、
0:42:40	うまく
0:42:42	説明がある。
0:42:43	ちょっと、
0:42:46	うまく説明できてないのかなっていうのが、
0:42:49	そうですけども。
0:42:50	寸法が違うっていうことは、その間で同じやり方をやって、
0:42:56	同じやり方っていうのがあって、それで、
0:42:59	つなげないと。
0:43:01	こっちは 30。
0:43:03	37 センチ、37Pがこうあって、
0:43:07	うちがどれぐらいで、
0:43:09	こちらはちょっと低いやつです。
0:43:14	というところなんで、例えば 37 センチ、30 何ミリでやってやったら、こんなになりました。それに対して、
0:43:23	これで出てくる素直なやり方っていうのは例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:34	しゃべりすぎ。
0:43:35	マスク、
0:43:38	全部しか、
0:43:41	だから
0:43:43	つなげてくださいということ。はい。はい。間に一つ入れれば、説得性が全然変わって、
0:44:53	はい。
0:44:56	はい。
0:44:58	はい、おっしゃることは、
0:45:02	全部比較でホンダてるっていうと、中には公開可能なところがあるんじゃないですかっていうだけの話ですね、次回の入ってたんで、
0:45:12	はい。
0:45:36	規制庁も、
0:45:39	はい。
0:45:41	50 ページに、
0:45:46	伝達係数 α 松原ナカシミズ海田。
0:45:51	フジイに出てきて、
0:45:55	他のところって、多分、日比常務からね。
0:45:58	空港から全部、そうなったねってわかる。
0:46:04	熱伝達係数って、
0:46:07	ビズスペースで普通、例えば、
0:46:10	どんな式
0:46:13	算定するものだと。
0:46:15	どういふか、そういうふうな、
0:46:19	出てきた、
0:46:22	ここで何か保守的にとか何かこう書いてあるんだけど、
0:46:27	何が保守的なのかさっぱり、
0:46:31	よくわかんない。
0:46:33	何をもって保守的という言葉が出てくるのかっていう。
0:46:39	ちょっとこの辺は、
0:46:40	この式の中に、何番目かの式、
0:46:47	2 番目の式の封筒の中に何かそういう、その熱伝達係数は何か出てきて、
0:46:55	なんか、
0:46:57	その兼ね合いで多分書かれて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:03	込みで理解できない。
0:47:09	はい、家のシャンパンモリサノ。
0:47:13	説明は追加してわかりやすく、
0:47:28	特に除熱に関して質問がなければ、次の長期健全性の説明をお願いします。
0:47:44	また、
0:47:47	すいません税務署。
0:47:51	PowerPointあれですね、もう一つの
0:47:54	説明の方がまだ、
0:47:56	はい。
0:48:01	もう1点残っておりますのが、でございますが、
0:48:05	この申請書の、
0:48:08	表面からも、
0:48:10	その建屋の形態ケースにおける、
0:48:13	解析条件は0点。
0:48:16	ニイツ2として、一方、
0:48:19	概要資料の16ページ及び補足説明資料、
0:48:24	ー41ページでは、
0:48:26	これで20個。
0:48:28	算出根拠を説明されているが、
0:48:31	設定値の差異の理由を、
0:48:33	説明するとともに、
0:48:36	適正な設定して整合を図ることというご指摘をいただいております。
0:48:41	今年、
0:48:42	今年証明申請書では、
0:48:46	当該カスクの団体利用評価において保守的な条件として、先行例を参考にして、
0:48:53	形態係数を0.2と設定しておりましたが、
0:48:59	概要資料を予測する資料では、周囲をふやすTall
0:49:04	26jpで困った場合の、
0:49:07	形態係数である2.0.26を、
0:49:11	採用して記載しております。
0:49:14	今後は、
0:49:16	エストール26JP困った場合の設定に統一いたしまして、
0:49:23	次の型式進む。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:25	証明申請書の
0:49:27	ページには、整合を図ります。
0:49:31	なお、
0:49:31	この経済係数に一井の場合と、2-5の場合で、
0:49:36	評価温度災害等未満になることを確認しております。
0:49:42	以上です。
0:49:46	規制庁マツノ。
0:49:48	わかりました。これ形態係数 0.265 の方でも、今後補正をするっていうことで理解しました。
0:49:56	これに関して、
0:49:58	本学であります。
0:50:02	先行例が平均に、
0:50:17	広く、
0:50:19	へえ。
0:50:21	最終。
0:50:23	方法については、附属書の 52 ページの方に、
0:50:28	書いてございまして、
0:50:30	これ、
0:50:33	これを求めるときの
0:50:38	関係とか、距離が異なったからということだと思う。
0:51:03	表面。
0:52:20	横並びで見たときに、どこが違うのかなあとって大体どこの、
0:52:27	稲井の児童施設においてもピッチは同じRC、
0:52:30	大体 20、
0:52:36	に対しては、大体、
0:52:38	デリバリーっていうのは大体同じようなもんやろ。
0:52:41	そこで、例えばニワとか、
0:52:43	それぐらいの差がついているのであれば、その理由は明確に、これ使うっていうことは全然キタノ食べるっていうつもりはない、もちろんないんですけども、
0:52:52	そのの、要は彼らはこうなんで、彼らの先行のやつは、
0:52:57	多分こんなことやろうけど、我々のやつはこうですよっていうことはちゃんと、
0:53:03	説明できないといけないと思って、
0:53:07	明確な、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:13	えっと、RNAソウノコガですけれども、こちらの方ですね、0.265 と 0.21 に途中、我々が確認した範囲では、主に、高さ、
0:53:23	キャスクの高さが違うと、
0:53:27	ちょっと、そんなに高さが違う、実際違うのかっていうか保守的にMHIのMSF24 日を書いているのかとかそこまでちょっと確認してないですけど
0:53:39	MS24Pの
0:53:41	A評価と比べた高さのところ、
0:53:44	間違っていると、おっしゃる通りキャッシュリッチとかですねそういうものは同じであると。
0:53:49	先ほど放射率の話がありましたけど形態係数に 0.21 と 2 と 265 で大井を、評価温度差が 1 ドイがあつて、
0:53:58	本当かないなという話はちょっと我々もちょっと
0:54:02	GNSに確認した結果ですね基本的にこのキャスクは対流が主であると。
0:54:09	放熱に関しては全然輻射は、
0:54:11	主じゃないというふうに聞いています。
0:54:16	補足は以上でございます。
0:54:21	ヤスダ。はい。
0:55:24	覚え、
0:56:54	あ、すいませんGNSJapanモンマですけど
0:56:58	さっき下、FTさんが言った話は補足説明資料 54 ページの
0:57:05	表、
0:57:06	セイノ 5 の 1 っていうところに形態係数の算出条件の表が載ってますけど、
0:57:13	ここの、
0:57:14	あれですね、キャスク高さのところの値がちょっと聞いてじゃないかっていう
0:57:38	除熱に関しては以上で次の長期健全性の説明をお願いします。
0:57:51	CMS。
0:57:54	パワーポイントの 4 ページ。
0:57:57	した。
0:58:00	多いです。
0:58:03	採用資料及び補足説明資料、
0:58:07	線量被覆管

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:10	清権田。
0:58:15	GNSの案と、
0:58:20	PowerPointの4ページの1-3の、燃料被覆管の
0:58:26	周方向応力、
0:58:29	概要説明資料及び、
0:58:31	説明資料の、
0:58:34	燃料被覆管の静定温度の設定っていう側、
0:58:38	深野秀歩をください。
0:58:41	こんなことして、
0:58:45	公共系から、
0:58:47	このように周方向応力がMPaを下回る、非常に、
0:58:54	もう少しマイクに近づけて、
0:59:08	CMSのーです。
0:59:18	GNSなんて思うんです。
0:59:22	パワーポイント4ページ、地域差。
0:59:25	燃料被覆管の手法、広報力についてですけど、別紙。
0:59:31	補足説明資料の、
0:59:33	何十ページ。
0:59:42	この3って、
0:59:48	別紙5にあります補足あれば、
0:59:53	コウ.3の計算方法を使って計算したところ、
1:00:01	支保工力は、許容値の百名あすこ以下になりました。
1:00:19	ページの、Dの遮へい解析における中性子遮へい材の質量現存の分布についてですけども、
1:00:32	及び放射線の、
1:00:34	影響評価する。
1:00:36	というのがありまして、
1:00:44	3、
1:00:46	37ページのところで、
1:00:52	ディーエムエスが実験した結果があるんですけども、
1:00:55	それはその結果を使って、
1:00:58	60年に、
1:01:01	換算した表が、
1:01:04	このパワーポイントの5ページにある、興味ない。
1:01:07	それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:11	マスクングになって、
1:01:15	その損失は、
1:01:18	これくらいになりましたので、
1:01:22	遮へいの相崎の方に影響がないと。
1:01:31	正規の中性子遮へい材。
1:01:35	定置に対する経年変化。
1:01:38	する評価ですけども、
1:01:42	別紙 4、
1:01:48	別紙 4、
1:01:58	こちらの争点、
1:02:06	ハダ 100、
1:02:09	サンキュー。
1:02:21	規制止まっんです。
1:02:24	を、まず弓削されていって、
1:02:27	こちらから確認し、
1:02:30	まずファースト資料の、
1:02:33	6 ページ目に、
1:02:41	堀江れんの経年変化に対する評価。
1:02:46	その下のフローも、
1:02:48	横井のところ、これ、
1:02:52	マスクング箇所が全部これ、
1:03:12	ちょっと一旦、
1:03:15	録音てしまって、
1:03:20	今野くんてでしました。
1:03:22	ここで、
1:03:25	黒の四角囲いのところにある一定以上の温度、一定の温度以上で完全に 変化するっていう説明文があるんですけど、
1:03:35	これ右の、
1:03:37	グラフを見ると、
1:03:39	上のグラフがTHAIペールで下がタイプ <input type="text"/> で、
1:03:43	熱膨張係数、
1:03:46	これ。
1:03:49	縦軸が温度。
1:03:52	これなんか、 <input type="text"/> でこれ、
1:03:55	グラフの線の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:58	なんでプロットの仕方が、
1:04:01	違うんですけど、
1:04:03	左に変えたこの説明文と、
1:04:06	この右のグラフを見比べた場合に、
1:04:10	このある一定以上のこのある一定の温度以上で完全に変化するっていうところは、
1:04:15	それぞれこのタイプ <input type="checkbox"/> 田井フジイのグラフでいうと、
1:04:19	どの
1:04:20	地点で、
1:04:22	そこは完全に変化するといえるのでしょうか。
1:06:36	規制と、今までちょっと回答がこの場ですぐできないようで、補足説明資料に、
1:06:41	そのあたりの、
1:06:44	具体的な、
1:06:46	説明は、補足説明資料に記載をお願いできればと思いますので、
1:06:51	よろしくお願いします。
1:06:57	GNSJapanの三枝です。
1:07:00	ただいまのご質問に一応補足説明資料は、それなりに説明したつもりですけども、
1:07:07	例えば、説明資料の 41 ページには、
1:07:12	タイプLの熱膨張係数の温度変化を示しております。
1:07:18	それで、衛藤。
1:07:20	長手方向と半径方向についてそれぞれ熱膨張係数の測定をしていて、
1:07:27	タイプAの場合は、特に、
1:07:29	半径方向に、の測定において、 <input type="checkbox"/> 度のところでピークに達していて、
1:07:36	この温度をもって、最高使用んと、
1:07:39	設定した詭弁です。
1:07:42	田井フジイの方は次のページに、
1:07:45	温度変化、
1:07:47	温度の関数として熱膨張係数、それぞれ長手方向半径方向両方同じグラフに示しておりますが、 <input type="checkbox"/> 度のところにピークに達していて、
1:07:59	当然、
1:08:01	増加関数が減少関数に変わっていく様子を示していて、それをもって、
1:08:07	大体その辺が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:09	限界温度として、余裕ごとの余裕を持って□度と今設定したゆえんです。
1:08:24	羽賀講師が書いてあるその完全に変化するってのは、どの時点でいいんですか。
1:08:30	と
1:08:32	タイプ□非常に明らかなと思いますけども、
1:08:35	増加分、温度とともに増加関数が、
1:08:38	差□度サカイ 20 減少関数に変わっていると。
1:08:43	いう点です。
1:08:44	ここが□度でピークに、
1:08:48	達する熱膨張係数ですけども、安全誘導をもって、5 度をとって 135 と設定したと。
1:08:55	いう経緯を書いています。
1:08:58	タイプDは明確だと思うんですけど、タイプではちよつとこのグラフだったらちよつとわからないと思うんです。
1:09:04	この□度以上。
1:09:06	データというのとはとらえてないんです。
1:09:09	その辺は、
1:09:11	ちよつと今手持ちに、
1:09:12	ないので、
1:09:14	調べて、
1:09:18	改定させていただきたいと思います。スペースにしよう。
1:09:21	はい。
1:09:28	もう 1 点。
1:09:32	必要限数の話なんですけど、
1:09:40	主要原本に関して、
1:09:44	100 分の審査ガイドでは、
1:09:49	設計ちよつと漢字の兼用キャスクの岩盤線。
1:09:52	遮へい材及び中性子遮へいだの、れっせ劣化による、
1:09:58	遮へい機能の低下を考慮することと書かれてあるので、
1:10:03	ここは、審査ガイドに、
1:10:06	機械がある。
1:10:07	確認事項に沿って確認必要があるかと思いますので、
1:10:15	そこは、
1:10:16	このガイドに沿った、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:21	必要限さ。
1:10:22	考慮することに関して、
1:10:25	回答いただきたいと思いますので、
1:10:36	とJNESジャパンの三枝です。補足説明資料の 37 ページに、
1:10:41	説明させていただいたわけですが、
1:10:50	一般にねIIIによって、
1:10:54	減損ということを議論したときに、
1:10:58	ここをプレゼンの場合は、熱参加参加によって、
1:11:03	経年劣化をして必要限損失に至るという考え方を持ちまして、
1:11:09	そのためには酸素の供給がないと、参加に至らないので、
1:11:14	その点呼、
1:11:15	ストールキャスクのポリエチレンの位置ってというのは、
1:11:20	ほぼ、
1:11:22	密閉された空間にあって、
1:11:24	供給される酸素の量ってというのは、最初にあった酸素が供給された晶 出された後はもうありませんので、それ以上の、
1:11:35	酸化反応ってのは起こらないと。
1:11:38	ということで、
1:11:43	評価してきたつもりなんですけど。
1:11:47	熱劣化が生じるっていいこといいです。
1:11:50	熱劣化が生じるか生じないで生じるのであれば遮へい機能の低下には 考慮することとなっておりますので、
1:11:58	熱劣化は生じますけど非常に限られた。
1:12:01	酸素の供給があるところまでしか熱劣化しないということで、
1:12:06	それを踏まえて遮へい機能の低下を考慮することっていうことになって ますので、
1:12:19	ですから、遮へい機能に対しては、
1:12:23	資料現存が無視できるので、
1:12:25	遮へいの安全機能には影響がないという、一応結論を 37 ページの最 後の 2 行でしてつりななんですけど、
1:12:37	この点、多分私以外にもいろいろコメント意見等がありますので、
1:12:42	何かありますか。
1:13:05	これは、
1:13:10	もともとフォリエーションの一般的な、
1:13:15	レッカーの用意を最初に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:19	議論して、もちろん光とかね。
1:13:23	熱。
1:13:24	それから放射線もそうなんですけども、そういう要因が劣化の原因であるって議論をした後に、
1:13:31	熱ということについては、今申し上げた酸素の供給が、参加のもとになりますので、それが無いということは、
1:13:42	劣化しないと。
1:13:44	いう考え方です。
1:13:52	こういことで、
1:14:14	られない。また、
1:14:17	何らかの、そんな、
1:14:29	はい。その点につきましては、このポリエチレンの、
1:14:34	普通、あの場では結晶化しているところ。
1:14:37	ある温度を例えば 103、さっきの、
1:14:41	130 度とか 135 度において比、
1:14:44	結晶化すると。
1:14:46	いことで、
1:14:48	その温度以下、実際の熱解析ではここんところは 120 ドイカ。
1:14:54	になっていますのでそういう消失か。
1:14:57	そう変態っていうのはないので、
1:15:00	結晶がずっと維持された状態ですから、
1:15:05	今おっしゃられたような
1:15:08	おいしい構造の、
1:15:10	ボンドが取れるとかあきれるとかですね、そういうことはないというふうに考えています。
1:15:18	やはり、
1:15:25	どうしても、いろんな事業者、
1:15:35	ミズタ問題あって、
1:15:37	それが、
1:15:39	事業外れるからだっていう、
1:15:43	そういう話だから、長く行ったら、何とか値段ができる。
1:15:48	値段がやっぱり 0 ですよっていう
1:15:54	そういうことが、要はこれがどのように差別化されてるかっていうところがわからないんですね。
1:16:01	で、何がやはり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:04	本来であれば、僕、先ほど松尾さん、北設計指導期間中ですから 60 年に相当する湯
1:16:13	そのレベルで壊れませんよと。先ほども、他社さんの方も当然それは多分、
1:16:21	うちから言ってそんなことないっていう説明だった。
1:16:25	やはり戻って、
1:16:27	あるでしょうし、やはりそういうわずかでも、要はそういう
1:16:31	担当とか、そういうものが離れて、
1:16:37	やはり要素は考慮する必要があるんじゃないかなというふうに思われるので、
1:16:43	何。
1:16:45	できれば一番ありがたいのはやはり、
1:16:48	何かCNPなり何なりで、ある程度時間をずっとやって、
1:16:54	そこで
1:16:56	DTで見たらさ、
1:16:59	ちっちゃいやつじゃなくてあるファンドに対して、
1:17:02	何ヶ月レベルかもしれませんけども、試験してみて、この程度ですよって いうところで、
1:17:09	定められるので、
1:17:13	見て、
1:17:14	これ全然関係ないでしょっていうふうな説明を、
1:17:19	していただくことが言われとって、我々すごい接続されやすいというふう に考えてますので、
1:17:25	少し
1:17:27	正論というのと、その前も申し上げましたけど時間の効果っていうのが ね、やはりそこでなかなか見えないところがあるので、やはりその通りか もしれないんですけれども、
1:17:39	そういうものがあってもやはり皆さん、どういう説明するかつつたら、や っぱある程度時間をかけて、何か、何が生じるかっていう
1:17:49	やってみてそれに対して保守側に、
1:17:52	東田層でいくのはなかなか年 5%。
1:17:55	1%現像しちゃってやりましたよとっているいろいろそういうお考え。
1:17:59	そういう仮定を置いて評価させていくっていうのが、
1:18:05	まあ、今、明示して、そういう試験をやってそういう確認してそれから取り 扱ってやったんだねっていうのが、そうだねっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:14	いわゆる
1:18:17	今の議論であれば、例えばエポキシ綺麗に考えたらいいと思う。
1:18:23	155 までいきます。
1:18:25	1935 です。これ重量係数をいたしませんというような間Gのように聞こえるんですね。
1:18:33	であれって何かから時間とともに、
1:18:37	低迷がぐちゃぐちゃになるようなことはないけども、
1:18:40	ナカノベツショ。
1:18:43	かかる。水が上でちょっと、
1:18:49	そういうふうに、
1:18:51	まあちょっとそれが違うとしても、やはり 150 度ですよ、160 度ですよと言って、粟田試設計 130 でやりますよ、130 でやったけども、
1:19:01	使ったんですよという説明を皆さんされているので、そういう説明が要らないという、もう確固たる何かエビデンスかなにがしであり、
1:19:11	別のアプロちいとかね、今申し上げた聞き入れとしては、
1:19:16	プラスBだみたいな。
1:19:19	何かその辺で、
1:19:22	時間のファクターが入ってる。
1:19:34	関係ないよという、
1:19:36	しゃべりは少しはあるかもわからないけど、収集見てるんですよという、
1:19:42	設計ちょっとやっぱそういう、
1:19:47	もう、もう、もう少し本コース、
1:19:56	とGSジャパンの三枝です。土肥今のところ、この設計方針は、
1:20:04	今、大江さんの話の中にもあったような、
1:20:07	この材料としてそういう時間の影響を受けないと、この近藤条件ではですね。
1:20:16	というスタンスですけども、
1:20:18	他社さんの説明、
1:20:21	ハラスミダパーメーターを使ってとおっしゃいましたけども、ちょっとそういうのを参考にして、
1:20:26	より説得性のあることも説明できればしてみたいと思いますけどもちょっと検討させていただきたいと思います。
1:20:42	現年ソヤヤタです。すいません、ちょっと念のため補アノアノ録音遮断していただいてもいいですか。
1:20:49	切れたままですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:53	規制庁マツノ。
1:20:56	重要現象についてはこちらから質問確認事項は以上でして、あと、
1:21:03	再一
1:21:04	幾つか、
1:21:06	はい。
1:21:08	すいません。
1:21:14	4時まで、
1:21:15	次回、
1:21:21	理解しますか。
1:21:27	じゃ、
1:21:28	足りなくて、
1:21:34	しゃべっていいんですか。
1:21:39	大変、
1:21:40	のやつの基本法律の計算は、
1:21:49	うーん。
1:21:51	いろいろ久野なやつとかね、基準とかってというのが書かれていて、その本報が、三菱の平成 23 年度現状設計時に、
1:22:02	このように読めるんですけども、
1:22:06	この燃料設計の基準として、総合燃料、
1:22:10	石油とか、
1:22:13	えっとヨンパチの話がここでされてるのかというちょっと、
1:22:17	ちょっと疑問がありました。
1:22:21	また、
1:22:24	いろんなその数値を見ると、他事業者さんの前提条件に比べてかなりマイルドな感じがして、
1:22:36	で、
1:22:38	これでいいのかどうなのか、こちらもいろいろ横並びですべて見てて、この事業者は、この辺りこの事業者はこの値っていうのをちょっと、
1:22:47	逆にあんまり好ましくないような感じがするので、
1:22:56	例えば、今回の数値でもこういうドキュメントをいろいろ調査されてね。
1:23:09	あくまでも、事業者のね、定めているスウキ事業者が、規制庁に物申せる数値
1:23:16	というところがベースになって、
1:23:20	ですから、
1:23:22	やはり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:23	調べられることが悪いって言うつもりはないんですけども、
1:23:27	原則は、やっぱり電気事業者なり、メーカーなり、勉強タコメーターに、
1:23:36	こういう数字提示できるのかっていうこと。
1:23:39	された方がいいのではないかなと。
1:23:43	結構、
1:23:45	特にPWRの場合非常にもう厳しい結果になるのが見えてきてるので、
1:23:52	でその辺で、例えば小、
1:23:54	ここも、
1:24:00	要は、どこまで皆さんコウ、どうですかね、マスクするにしてもですね。
1:24:06	あれっていうな感じのところも出てこようかと思imasるので、やはり、
1:24:13	としては、
1:24:15	やっぱ事業者、
1:24:17	なりわいとしてるところからですね。
1:24:20	いただいた。
1:24:28	あの、その三菱のドキュメントっていうところ
1:24:32	次ないやつなり、本でもあるというところで、
1:24:44	上下部プレナムという表現が結構出てきてる。
1:24:49	基本的にA型の燃料ってカブプレナムは存在しない。
1:24:56	多分B型にしてもカブプレナムっていう、
1:24:59	A型のやつはサブタン線が長くてその方が、若干そのスプリングがあつて、それがもうなってるだけと。
1:25:05	というような認識でそれで、当然、大体の地図の中でのその燃料のそのあんこの位置って大体決まってこないといけない。
1:25:13	大体同じようなところにあつて、
1:25:21	今回書かれた数値っていうのがどうなのかなと。
1:25:24	ベップで、あと 1077 と 1055 は、
1:25:29	新法も違うし、
1:25:31	それなもの、体積等も異なつて、
1:25:34	城古野向井関井
1:25:37	現状、燃料量時の空間体積の相違
1:25:43	その比率が変わらないことないと思うんで、
1:25:46	一緒にはできないだろうなということがあつてその辺は、明確にして、
1:25:54	3 番目は、
1:25:57	ここまではともかくとして、
1:25:59	要はその被覆管の温度は、265 度でしたっけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:06	燃料域のガスの分が、
1:26:16	だから、
1:26:18	ポイントは、
1:26:19	基本データっていうのは、これはDNSもプロパンプロプライエタリデータ されて、
1:26:27	他社からもらうデータだというところでそこは割り切ってカセからのケー スを、
1:26:36	そう。
1:26:37	被覆管の、その中の、その際、
1:26:43	その辺
1:26:44	でも、
1:26:45	先ほど申し上げました通り、3フナノは特に形はない。
1:26:50	そういうのが事実なんで、
1:26:52	その辺も踏まえて、記載が本当にできるかどうかっていうことか。
1:26:58	最後は、実際の三次元の本部事業本部分と考えられて評価されたとい うことは理解できるんですが、
1:27:07	それぞれ、
1:27:08	スタートポイントのソウノですか、除熱っていう評価で出た、燃料集合体 燃料被覆管の最高温度から、
1:27:17	何度だから、ここはどういうふうになって、この分ですよっていう、ちゃん と
1:27:27	以上です。すいません。
1:27:29	GNSJapanのサエグサレス。
1:27:33	ほとんど今おっしゃられたような、
1:27:38	検討して書いている。
1:27:41	つもりなんですけども、1例として、
1:27:44	下部プレナムのボリュームは0ということで、
1:27:47	計算しているのは、46ページにお示している通りです。
1:27:53	あと、もう少し、
1:27:56	ただ、
1:28:19	JA先般のサエグサイセ了解しました。
1:28:31	は何か確認質問ありますでしょうか。
1:28:37	特に、
1:28:41	質問確認は以上となりますので、
1:28:46	何か全体通じて、GNSから確認したいってありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:07	J-RJapanサエグサです。こちら側から特に確認したいことはありません。はい。はい。
1:29:13	では本日のヒアリングはこれで終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。